



ご挨拶

新型コロナ感染が5類に移行して、ほぼ行動制限はなくなりほっとしたのも束の間、いまだ医療・福祉施設等では感染の懸念が付きまとい、さらに今度はインフルエンザが猛威を奮うなど、音楽療法に取り組む皆様は、まだまだコロナ前の状況に戻れない現場でもどかしさを感じながらお過ごしのことと思います。

11月12日に徳島で開催されました「第18回日本音楽療法学会四国支部学術大会」では、2つの講演、シンポジウムなど、あらためて音楽療法の有効性と奥深さ、さらに今後の可能性に気づかされた一日となりました。大変有意義な大会となりましたこと、講師の先生方、参加下さった会員の皆様と、和田津大会長はじめ運営に携わられた委員の方々に心より感謝申し上げます。

遡って、9月に岐阜で「第23回日本音楽療法学会学術大会」が開催されました。シンポジウム「国家資格化は今！」では、藤本理事長からあらためて「音楽の力を活用して生きる力を支援する議員連盟（略称 音楽支援議連）」について説明があり、同議連の会長である上川陽子衆議院議員も登壇され、国家資格化への思いをお話くださいました。国家資格化に大きな一歩を踏み出した中、音楽療法士にはより高い専門性が求められると感じています。

社会からの音楽療法に対する期待に応えるべく、四国支部会員一同、心ひとつに手を携えて、より一層の研鑽に努めて参りたいと思います。

何卒よろしく願いいたします。

支部長 岩永十紀子

学会理事に就任して

四国支部会員の皆さま、こんにちは。2023年の年の瀬、いかがお過ごしでしょうか。

昨年、私が学会の理事メンバーに加えていただいてから1年半が過ぎました。理事メンバーは名だたる先生方ばかりで、2カ月毎に開催される理事会への出席は毎回緊張しますが、藤本理事長が進行される会の雰囲気は毎回和やかです。私のような新参者でも意見や疑問を発言できる雰囲気があり、さまざまな角度からの考えを受け入れてより良い決断をしようとする姿勢が共有されているように感じます。理事会に出席するようになって一番強く感じたことは、学会運営を担ってくださっている先生方の献身的なお働きに対する敬意と感謝でした。それぞれ専門家としてもご活躍の先生方なのに、ボランティアで大変な責務を担ってくださっている。「愛」だと思いました。学会への愛、会員への愛、そして音楽療法への愛。これなくして務まらないほどの重責だと思います。そしてもうひとつ、理事会に出席して毎回感じることは、「未来への希望」です。ひとりで考え込むときは「山積する課題」だと思っていたことも、理事の先生方がそれぞれのお立場で前向きに取り組まれているご発言を伺ったり、議論したりしていると、光が見えてきてわくわくします。去る12月3日に開催された第102回の理事会でも、関連学会との関係性の強化や認定更新手続きの簡易化、音楽療法士団体保険の保険料の見直しなどの議題があり、豊富なご経歴の方が事務職員として着任されたご報告もありました。私が所属する学術・研究委員会では、音楽療法臨床・研究の活性化や研究発表の奨励を目的として、全国大会で行われる学会発表の中から特に優れた発表に、「優秀発表賞（仮）」を授与する企画も進めています。学会ニュースレターには毎号、理事会報告が掲載されていますので、ご確認いただけましたら幸いです。

四国支部も、多くの先生方の愛と多大なるご尽力により運営されています。先般の徳島大会は、和田津美智代大会長率いる実行委員の先生方、新緑委員長率いる支部大会運営委員会の先生方のお力により、学びの多い充実した支部大会となりました。LSC講習会を企画運営して下さっている雫裕子委員長率いる研修委員の先生方、そして、この支部ニュースレターやHP、facebook等でタイムリーに情報を届けてくださる森本加奈委員長率いる広報委員の先生方、そしてメーリングリストの管理等も担って下さっている尾立真紀事務局長にも、この場をお借りして感謝申し上げます。

学会理事 四国支部代議員 上羽（糟谷）由香

第18回日本音楽療法学会

四国支部学術大会(徳島)を終えて

ハイブリッド開催

大会テーマ「音楽療法の研究と実践の、今！」—グローバルな視点から—

大会長 和田津 美智代

今回の四国支部大会は、初めてハイブリッド形式で開催を致しました。

ご多忙のところ藤本理事長にオンラインでご参加いただき、ご挨拶を賜り引き締まる思いで開会いたしました。お陰さまで四国支部の会員だけでなく県外からもオンラインで多数ご参加いただき無事に大会を終えることができましたこと、心から御礼申し上げます。

午前中の教育講演は、オーストラリアでご活躍の名郷泉先生と Zoom でお繋ぎして、17年の長きにわたり音楽を通して関わり続けたクライアントのグリーンケアのための音楽療法の事例をご紹介いただきながらご考察いただきました。

午後の教育講演には、慶応義塾大学環境情報学部准教授で音楽神経科学と音楽身体科学がご専門の藤井進也先生を会場にお招きし、対面でご講演いただきました。ドラマーでもある先生からは、研究に基づいた、音楽の科学的に裏付けられた効果についてお話しいただき、講演の合間には、逞しくも優しい声で「音楽は凄いんですよ！」と言って、私たち音楽療法士を大いにエンパワーして下さいました。

また、シンポジウムでは「四国におけるコミュニティ音楽療法の現状と展望」と題して、4名のシンポジストから実践のご報告いただきました。ご報告から、地域社会からの要望は増加傾向にあり、コミュニティ音楽療法の地域貢献が、音楽療法士の活動領域を拡大することにつながることを視野に入れ、皆で取り組み、推進していくことの重要性を再認識しました。

最後に、今回、会員の少ない私たちの県で、ハイブリッドによる支部大会の開催を可能にしたのは、四国4県の大会準備委員の方々のご協力があったること。開催準備にあたり、支部長の岩永先生をはじめ委員の皆さんの善意と熱意に支えられ、大会を無事に終えることができましたこと、心から感謝申し上げます。



2023年12月吉日



日本音楽療法学会四国支部

第4回LSC(ラーニングサポートセンター)講習会開催のご案内

研修委員会 雫 裕子

研修委員会では、学会認定講習会の審議とともに、四国支部主催で開催する研修の企画運営を行っております。

現在、第4回LSC(ラーニングサポートセンター)講習会を2024年3月31日(日)午前中に開催するよう、準備中です。

講習会は、豊中市(大阪)にある医療法人篤友会坂本病院の音楽療法士・那須貴之先生をお招きし、「根拠ある音楽療法を実施するために」と題しご講演いただく予定です。前回はアセスメントについて概論的な部分をお話しいただきましたが、今回はより臨床に寄った内容でご講演いただく予定です。

研修委員会では改めて、音楽療法セッションの基本に立ち返り、アセスメントから得た情報とニーズや課題を組み合わせてプログラムに反映し、事例検討や研究発表を含む振り返りまでシリーズ化した研修を計画中です。前回ご参加されてない方にもわかりやすく、すぐ臨床に活かすことのできる内容となっております。

講習会に続いて、ピア・スーパービジョンを実施します。ピア・スーパービジョンは、参加者全員が対等な立場で仲間(ピア)として、語り合い・振り返り・支え合い・アドバイスし合うスーパービジョンです。経験年数や対象領域を超えて、カジュアルに多角的な視点をもってセッションで起きた現象を捉え検討していきます。

一人職場や依頼された仕事を一人で取り仕切る中、悩みやちょっとした心のざらつきを抱えたまま過ごすことも多いかと存じます。

“百聞は一見にしかず”、まだ参加したことがない方も、何度も参加したことがある方も、ぜひふるってご参加ください。

またLSCは臨床の質と向上、音楽療法士同志の横のつながりと縦のつながりの促進と強化、四国地方各地域での音楽療法の普及を目的に開催しております。四国内の仲間と情報共有しながら、セッションの質を向上しつつ、悩みを解決していくことができればと思います。ご参加の程よろしくお願い致します。



ご連絡～必ずご確認ください～

四国支部事務局より

2023 春号でご案内させていただいたメーリングリストにご登録いただいた会員の皆様には、現在、四国支部からのお知らせ、他支部の支部学会、講習会の案内をさせていただいています。今後はニュースレターや会員の皆さんにとって必要な情報をお知らせできるよう準備をしております。登録者は現在 49 名、全支部会員の 40%です。

まだ登録がお済みでない会員の皆様は下記のGoogleフォームからぜひ登録のほどよろしくお願いたします。

登録の際にご不明な点などございましたら四国支部事務局にお気軽に連絡ください。
(sikoku.mt@gmail.com)

メーリングリスト登録用Googleフォーム：

<https://forms.gle/c9suvkFdWbEo4bxT8>



日本音楽療法学会より

◎会員ポータルサイト(旧：会員専用ページ)の初期設定について

10月に日本音楽療法学会・株式会社毎日学術フォーラムより案内が送付されています。登録内容の変更や会費納入、今後は講習会の参加申込や選挙の投票等運用範囲が広がるようです。ご登録よろしくおねがいたします。

◎日本音楽療法学会会員向け「団体総合保険」のご案内

11月末に学会ニュースと一緒に「音楽療法業務保険」の案内書が同封されています。**申し込みの流れが変更されています**ので、冊子もしくは学会ホームページにてご確認ください。

発行者：日本音楽療法学会 四国支部

編集：広報委員会

事務局：尾立真紀（おりゅうまき）

住所：782-0038 高知県香美市土佐山田町秦山町 2-1-1

電話番号：090-9556-0650

メール：shikoku.mt@gmail.com

ホームページ：

<http://www.jmta-shikoku.sakura.ne.jp>



Facebook：アカウント取得後、

ページ内で『日本音楽療法学会四国支部』検索

編集後記 音楽療法学会でもオンラインだけではなく、対面開催の学術大会・講習会・勉強会が増えてきており、オンラインにはない、直接顔を見て話ができる良さを改めて感じることができました。ただ遠方でも参加できるオンライン講習会も開催されており、日本音楽療法学会ホームページに掲載されています。四国支部のホームページや SNS、ニュースレターに掲載できますので、情報がありましたらお知らせください。(広報委員会)